



「E131系によるワンマン運転実施後の問題点」に関する緊急申し入れの団体交渉を行う！その①

1. 木更津運輸区において、E131系での分割・併合作業が開始された経緯を明らかにすること。また、社員周知の仕方や教育・訓練の体制、車内巡回をしている社員の役割についての考えを明確にすること。

【会社回答】

お客さまのご利状況等を踏まえ対応しているところである。
また、車内巡回については、お客さまのご案内を目的として実施している。

【議論内容】

- (組合) この間の議論で、基本は2両編成で運用し、状況に応じて4両編成で運用することもあるとなっていたが今回、4両編成で運用する判断をした経緯は何か？
- (会社) 概要説明の際に、学校行事や地域のイベント等の多客時に4両での運用を想定していると認識を伝えている。
- (組合) **今、臨時や増結を走らせているのは会社としては想定内のことだったのか？**
- (会社) 8時台の上り下りの館山口の電車が混雑することを事前に把握していて、**学校が始まる時期に4両で走らせるのは想定していた**。臨時の詳細については議論の過程にならなかった。2両でも乗り切れないわけではないが、混雑が想定されたので臨時列車に立て替えた。
- (組合) 乗務員は併合作業の実施を開始前日にタブレット配信で知る人がほとんどで、10月の車両訓練で教育されたがダイヤ改正後すぐにやるものではないという周知だった。一方、支社は4月4日から開始する認識でズレが生じている。**どう支社から職場に伝えたのか？**
- (会社) **基本行路でやるわけではない。分割・併合の作業だが臨時の作業である。もちろんマニュアルを渡して終わりではなく、しっかりとサポートしていく。指導員も継続して立会いしている。** 
- (組合) タブレット配信はあくまでツールのひとつ、当直と指導員で連携をとってもらって、点呼時にタブレットを見たかどうかの確認をして欲しかった。
- (会社) 一人ひとり見たかと質問するのも難しい。209系で分併作業もしていてベースがある。自分で調べることも必要。その上で不安があったら管理者に聞くことも必要で相互にコミュニケーションを取ることが重要だ。
- (組合) 巡回はどのような方が行っているのか？
- (会社) 運輸系と営業系。主に案内をしているのは外房は千葉、内房は木更津の地区指導センター、その上で人がいないところに運輸部や総務部が乗っている。
- (組合) 巡回はいつごろまで実施するのか？
- (会社) お客さまの不安がないようにゴールデンウィーク明けまでやる。当初は4月の頭までの予定だったが状況をみて段階的に伸ばしている。
- (組合) **乗務員と巡回する人とのやり取りはどうなってるのか？**
- (会社) **基本的には巡回している人が運転士に報告する義務はない**。人によって温度差があるので腕章して乗ってる事で運転士も把握してほしい。
- (組合) 駅ごとに顔を出して確認する人もいるが、知らないと閉めにくいし不審者になってしまうので**一声かけて欲しい**。巡回に行く人たちはマニュアル等の資料を持っているのか？
- (会社) **意見として受け止める**。あくまで半自動扱いとワンマンの案内、お客さまへの乗り換えの周知で特にマニュアルはない。
- (組合) 転入者はハンドル訓練のみで、ワンマンに臨んだ方もいるが職場に教育を任せているのか？
- (会社) 基本的に職場に教育を任せている。不安があったら管理者や指導員に言って欲しい。

その②へ続く



千地申第13号

「E131系によるワンマン運転実施後の問題点」 に関する緊急申し入れの団体交渉を行う！その②

2. E131系での分割・併合作業に対して不安を感じていることから、初回は指導担当が必ず立ち合うこと。なお、初回だけでは不安が残る社員には解消するまで立ち会うこと。

【会社回答】

必要な教育等は既に実施しているところである。

【議論内容】

- (組合) 先程、不安があれば2回3回と立ち会うと回答があったが、申し入れをしてから変化があれば聞きたい。
- (会社) 申し入れをされる前から、最初の1週間は立ち会うことになっていた。1週間過ぎて指導員が全員に添乗をする必要があると判断し、立ち会うとなった。
- (組合) だが、添乗を求めても、指導員が体制を取れず行けないと断られていた現実がある。 
- (会社) そのような実状があったとしても現在は立ち会うことで決まった。漏れの無いようにチェックもしていく。
- (組合) 転入者で現車をやってないのに分併作業の当日に指導員にいけないと言われ不安だという声があった。
- (会社) 行けないなりにこれまでの経験を見て判断したのでは？事実があったことは受け止めるが、結果的にズレがあった中でも修正をしてきている。
- (組合) 支社と乗務員で温度差を感じる。分併作業は以前と変わらない。車種が違うだけでやれるという考えだろうが、乗務員としてはいきなりタブレットで来たような感じで車種が違うと不安に感じる。
- (会社) いきなり作業が出来たわけではない。プロなのでやることはやってもらいたい。
- (組合) 営業は実施を前提に分併の訓練をしている。一方で運輸ではオープンにならない。システムの壁なのか？
- (会社) 運転士が訓練やってないわけではない。知らせるのが遅くなったが作業自体の訓練はやってきた。
- (組合) 教育している事実はあるが、4月4日に向けての下準備は出来てるが実施日の告知が直前すぎる。

3. ダイヤ改正に伴う作業内容の変更点についての社員周知及び、教育・訓練を徹底すること。

【会社回答】

これまでも必要な教育等は実施しているところであり、今後も必要な教育等については行っていく考えである。

【議論内容】

- (組合) ダイヤ改正で変更点があった際に、支社から現場に対して作業の変更の説明はしたのか？
- (会社) 乗務員指導グループから作業手順が現場に降りて、分かりやすいように資料を作成している。
- (組合) 木更津の中2番線に回送で入り便乗の車掌が降車する際に後続の列車が接近して危ないとなり、翌日から便乗列車が変更となったが、どう受け止めているのか？
- (会社) 木更津の中2番線については知っていたが、今回は配慮が足りなかった。中2がダメではない。鴨川も蘇我もやっている。
- (組合) その場面になるまで誰も気づかなかった。どう風化させないで意識させていくか？
- (会社) 一方で乗務員なんだから確認して下さいとも言える。すべて配慮しないといけないわけでもない。
- (組合) 臨時でしか入ったことのない職場と定期行路で定着している職場の差もあり、気づけなかったのでは？
- (会社) そういう所も含め配慮が足りなかった。
- (組合) 定期行路や臨時行路に関わらず安全サイドに居たほうがいい。職場間で共有できるのは支社しかない。
- (会社) 支社としても検討する。 

**不安を抱えたまま乗務せず、解消するために職場から声をあげて
安全・安心なワンマン運転を私たちから創り出そう！**